

1. ブランドとは？ 買った人が他の人に10分ぐらい語りたくなるもの

東大経済学部教授の片平秀貴さんと東洋思想研究家の田口佳史さんのジョイントセミナーがはじめて開かれました。

ブランドを科学的に解明する片平先生と東洋、とりわけ日本の文化から豊かな発想が生まれると語る田口先生のジョイントに期待も集まり、参加者の反応も良かったようです。

片平先生によると、ブランドとは？“ 絶対的信頼感と安心感 + 圧倒的な存在感 + 独特な世界観 + プライドを提供する”ことだそうです。

買った人が他人に10分ぐらいは語れるもの、そんなブランドがファッション以外では日本でもドンドン登場しているのではないのでしょうか？

感動・驚き × 哲学 × おもてなし。

モノだけでなく、見えないものを見、聞き、感じる能力、文化を持った日本から、ブランドは育つはず。自動車や家電だけでなく、ファッションビジネスからも世界的なブランド創設が21世紀には期待出来るのでしょうか？

2. 生き残り策は高感度SCへ名古屋三越の挑戦 「ラシック」

3月9日にオープンした名古屋三越の「ラシック」は百貨店から業態を変えた本格的都市型SCです。

メイン入り口には「FORTNUM & MASON」のコンセプトショップが入居し、まさにファッションよりスイーツの時代を感じさせるレイアウトです。又、UAやトゥモロウランドの300坪を超える大型店を始め、ローズバッドやナノユニバース等の人気セレクトショップを揃え、ローリー・ロドキン等のジュエリー、アクセショップも充実した170店もの大型SCとなっております。グレード感と今の超人気店の集積では近隣のパルコより魅力的で、ラグジュアリー好きでプライドの高い「名古屋っ子」には大好評で上々のスタートだそうです。

感動百貨店をテーマにした日本橋三越の新館が単に本館の「パート2」で全く感動もしない、尚且つ魅力もなかったオープンに比べるとその差は歴然としています。凋落傾向の百貨店の生き残り策が「ラシック」のように敢えて三越の看板を外した大型複合商業施設しかないとなると今後は益々百貨店、SCの業態間の際がなくなり結果的には皆同じ方向を目指すのでしょうか。「ラシック」を見た後、隣の三越をのぞくと、百貨店がいかに魅力がないかを感じたのは私だけでしょうか。

<http://www.lachic.jp/>

3. 沖縄アウトレットモールの顧客の80%は観光客

- リゾートにアウトレットは相性が良い -

二年前にオープンした沖縄のアウトレット「あしびな」は空港から約15分の海岸沿いに1万坪の広大な敷地に70余りの国内外のブランドを集め、観光客に人気を集めております。

人気の要因は日本初上陸(マークジェイコブス、グッチ、CPカンパニー等)のブランドの集積と何より紺碧の海に浮かぶ南国のリゾート沖縄にマッチしたギリシャ風建築が正に海外

でアウトレットに行った独特の雰囲気を出し出すからかもしれません。
因みに建築家は「ジョン・ロー」です。又、沖縄だけでなくアウトレットと大型観光地の相性は
軽井沢、御殿場の例でもわかるように良さそうです。仮にディズニーランドの敷地にあつたら
成功間違いはないはず。私も何も沖縄まで行って買い物でも思いつつ御土産の数倍の
ブランド品を海外気分ですべて買ってしまった。恐らく観光客の多くの人々もそうなのでしょう。
<http://www.ashibinaa.com/>

4. 大阪駅前広場を商業施設に「フロートコート」

先日、JR 西日本の商魂の凄さを感じました。
全面改良工事が進んでいる大阪駅前(御堂筋口)広場でタクシー乗り場の2階に飲食を中心とした18店の施設が3月1日オープンしました。2011年までの仮設ですが最高の立地に
有力テナントが集まりました。物販ではワールドの新業態「BeeZip」。飲食は人気の「がん
こ寿司」「551HOURAI」オムレツの「エルベ」等が入居し今の所、大盛況です。
駅前広場を仮設といえ商業施設にした商魂にただ脱帽です。但し見栄えは決して良くあり
ません。

5. 全米の SC が注目「FOR LOVE 21」

いまだに快進撃を続けている高感度、低価格のレディース専門店 FOREVER 21 がアクセサ
リー、ファッション雑貨の新業態「FOR LOVE21」を2月にロス郊外の GLENDALE SC に出
店し驚異的な売上で早くも全米 SC の注目の的となっています。
44坪で月坪70万円超の現状は米国の SC 売上としては確かに突出しています。
コンセプトはラグジュアリーな空間でどこよりも早くトレンドをしかも驚くほどの低価格で提供し、
追加せずに新商品を送り続ける事です。正に FOREVER 21 のコンセプトそのものです。
GAP も NY にアクセだけのショップを昨年末、オープンさせましたが日本同様ファッション屋
がアクセ、ザッカの業態開発が世界的にブームになる兆し大です。

6. 小さな街角にたたずむイタリアンレストラン "la Brianza"

麻布十番のひっそりとした裏通りにたたずむイタリアンレストラン "ラ・ブリアンツァ"。
20 席程の小さな店内は明るくカジュアルな雰囲気でもとても居心地が良い。シェフの奥野良
幸氏は和歌山県の料亭で生まれ育ち、素材の生かし方を日々の生活の中で自然に会得し
た。ランチは 1600 円、2600 円、4500 円の3コース、ディナーは 3800 円、4500 円、6000 円
の3コースの中から選べる。アペタイザー、パスタ、メイン、デザートでこのお値段はとって
もお得。最初はこんなに食べれるかしらと不安だったのですが、それぞれのお料理の量がち
ょうどよい。気持ち良い具合にお腹が一杯になった。どのお料理も皆シンプルだが充分素
材の味を引き出してとてもおいしい。席数も少ないのでゆっくり話をしながら、リラックス
して食事するには最適のレストラン。
港区麻布十番 2-17-8 03-5440-8885
営業時間: ランチ 12:00-14:00(L/O) ディナー 18:00-23:30(L/O)
定休日 : 日曜・月曜(ランチのみ休み)